

『インカム導入による業務効率化

～レクリエーション活動時間の確保と活性化を目指して～』

○田倉典男 関岡麻衣子 矢崎ロシー 榎嶋いづみ 蛸名由美子
齊藤増雄 西直美 岸下結花 森松 静 進藤 晃

【はじめに】

介護療養病棟は医療依存度の高い患者が多く、当病棟は、重症率 70%・処置 60%・ターミナル 10%という状況である。日々の看護、介護は、ルティーン業務を行なうことが精一杯であり、当院では、インカムを導入し業務効率化を図った。結果、患者のレクリエーション活動時間の確保と活性化に繋がったので報告する。

【方法】

- ・インカム導入前後の業務所要時間測定
- ・インカム導入前後のレクリエーション活動比較
- ・職員の意識調査

【結果】

- ・インカム導入後、業務所要時間が短縮した。
- ・インカム導入後、職員のレクリエーション活動に対する前向きな発言が多くなった。
- ・患者、職員ともにケア中の笑顔が増えた。

【考察】

インカム導入により、業務の効率化や速やかな情報伝達が可能となり、動線が縮小し時間に余裕 が生まれたことで、レクリエーションの時間を確保できたと考える。また、インカムの活用は、患者と職員の笑顔を増やす手段の一つになったと考える。

インカム導入による業務効率化

～レクリエーション活動時間の確保と活性化を目指して～



医療法人財団利定会 大久野病院

○田倉典男 関岡麻衣子 矢崎ロシー 榎嶋いづみ
蛭名由美子 斉藤増雄
西 直美 岸下結花 森松静 進藤 晃

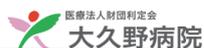


大久野病院の紹介



病棟	回復期リハ病棟	50床
	医療療養病棟	50床
	介護療養病棟	58床

計158床



演題発表に関連し

開示すべき利益相反(COI)関係にある
企業・団体等はありません



はじめに

大久野病院介護療養病棟 重症率70% 処置60% ターミナル10%

患者様のADL・QOLの維持向上を重視した
良質な日常生活支援が実践したいけれど・・・

時間がない...



インカム(インターコミュニケーション)導入

連絡業務・移動動線の短縮



定型業務効率化によるレクリエーション活動活性化



インカム使用時の様子



方法

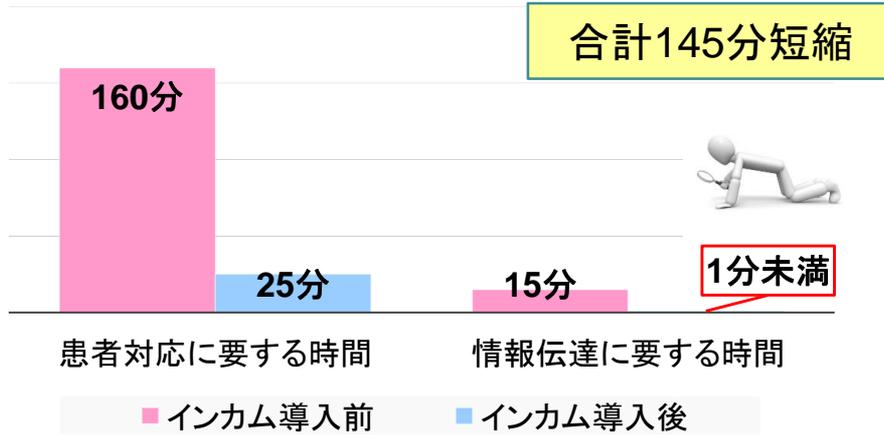
2017年7月インカム(Motorola CL1K)10台導入

1. インカム導入前後の業務所要時間測定
 - 1) 患者対応と情報伝達に要する時間
 - 2) 測定対象業務の所要時間
 - ① 午前・午後のおムツ交換業務
 - ② 昼食準備に伴う業務と食事介助業務
2. インカム導入前後のレクリエーション活動比較
 - 1) 日常レクリエーションを実施した患者数
 - 2) 病棟レクリエーションに参加した患者と職員数
3. 職員の意識調査
 - 1) 口頭による聞き取り

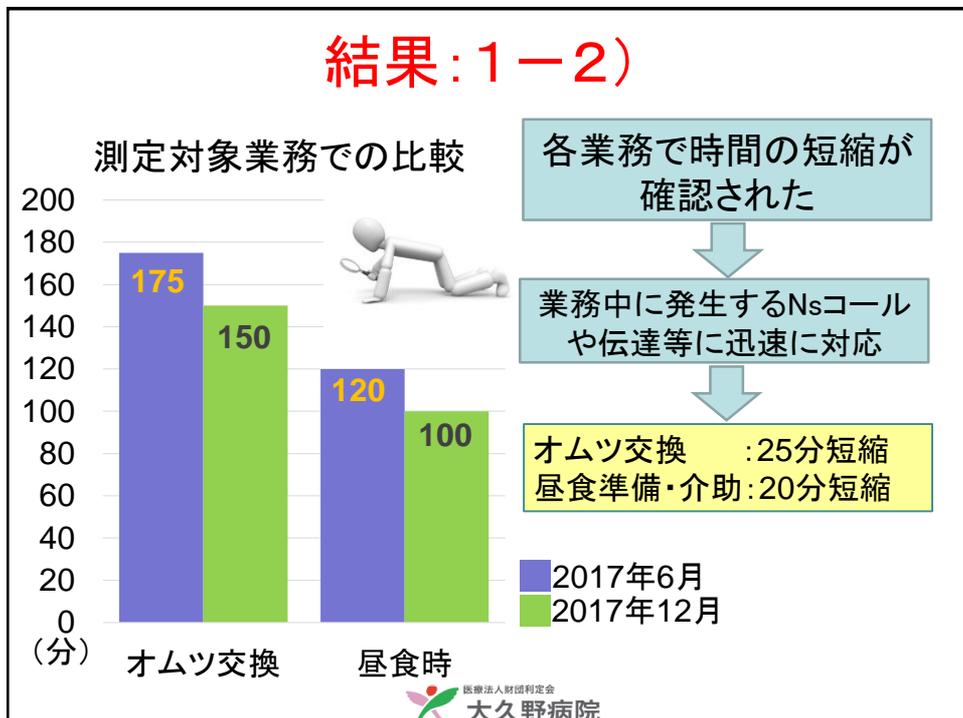


結果: 1-1)

所要時間(1日合計)の比較

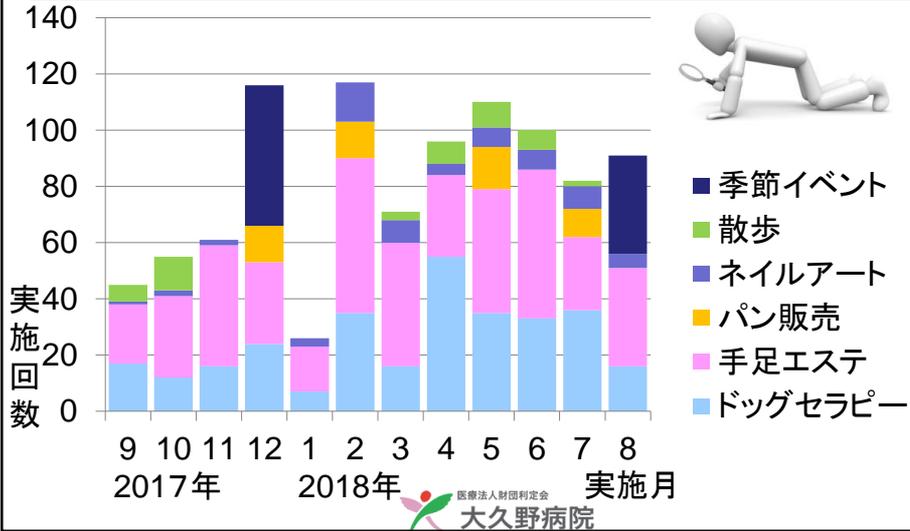


結果: 1-2)



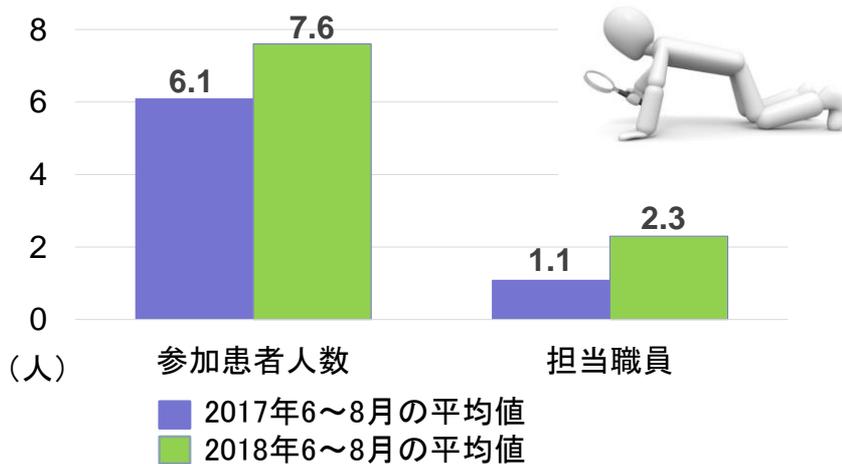
結果: 2-1)

業務効率化で捻出した145分で、患者の日常ニーズを取り入れた「その人らしい日常支援」の実施回数/月



結果: 2-2)

病棟レクレーションに参加する患者と担当職員が増えた



結果:3

患者・職員とも笑顔が増えた
患者はレクレーション活動に対し前向きな発言も



また、やりたい！
次はいつやるの？
毎回参加したい！



担当者が増えて気持ちに余裕ができた
以前より笑顔でいられる時間が増えた



医療法人財団利定会
大久野病院

レク中の様子



スライド中の画像は倫理的配慮に基づき患者並びに家族の了承を得たものです

医療法人財団利定会
大久野病院

考察

たった1つの機器の導入で業務の効率化がなされ、その作り出された時間をレクリエーションの活性化に繋げる事が出来た。

レクリエーションに参加する患者や職員数が増え、一緒に笑い、一緒に楽しみ、一緒に何かを作ることで、以前に増して交流が深まり、楽しいと思う時間が増えたと考える。



結語

入院生活は閉鎖された空間で、単調で刺激の乏しい環境になりやすい。

患者・職員ともに笑顔で過ごせる時間を増やすため、今後も業務の効率化や有効な機器の導入など、様々な方法を取り入れて行きたい。



ご清聴ありがとうございました

笑顔がいいね～
どんな時にも～♪



スライド中の画像は倫理的配慮に基づき患者並びに家族の了承を得たものです

医療法人財団利定会
大久野病院